

科目名	英語 1 J					単位	1.0
担当教員	船津 明生						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	3303

●授業のテーマ

英語という外国語を使って自分の考えていることを相手に伝える。

●到達目標

英語と日本語の比較対照と発音演習によって「英語コンプレックス」をなくせるようにします。

●学習内容(授業概要)

この授業は自分のことや日本のことを<英語で>表現することを学ぶ授業です。自分がしたいこと、今考えていることなど、いつも日本語で言っていることを英語で表現するために必要なことを勉強します。

たとえば、あなたがあるパーティに招かれて「英語」で話している状況を思い浮かべて下さい。聞いている人達が知りたいのは、あなたの生まれた町のことや日本の歴史、日本の若者が何を考えているかなどではないでしょうか。そこで求められるのは、英語を母国語としている人々に日本的な事物をよりよく理解してもらうための英語表現です。自分を表現する手段としての英語を学び、発音演習や文法の復習を行って、日本人に多い「英語コンプレックス」を解消していきたいと思います。

そしてそのために、まず前期は英語と日本語を比較対照してその違いをクリアにするところから始め、続いて文法や語い、発音をブラッシュアップさせる演習を行います。

●学習内容(授業計画)

1. 授業の概要について
2. 日英比較対照 ①音声について
3. 日英比較対照 ②文法について
4. 日英比較対照 ③語いについて
5. 日英比較対照 ④表現構造・話し方の論理
6. 演習 ①発音演習 母音と子音
7. 演習 ①発音演習 朗読
8. 演習 ①発音演習 暗唱
9. 演習 ②文法 文の構成、時制など
10. 演習 ②文法 前置詞、関係詞など
11. 演習 ②文法 接続詞、仮定法など
12. 演習 ③語彙 基本動詞
13. 演習 ③語彙 基本動詞プラス前置詞
14. 演習 ③語彙 形容詞、副詞など
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業のプリントでわからない単語を調べておく。

事後学習：毎回の授業で行った演習（発音演習・語彙演習など）を復習しておく。

●成績評価方法・基準

特に授業への「出席」を重視します（４０％）
また、授業への参加度、小テスト等の平常点（３０％）
そして試験（３０％）により、総合的に評価します。

●テキスト（必携）
毎回プリントを配布します。

●参考文献／その他
授業の中で指示します。

●履修上の注意
毎回プリントを配布しますので、ファイルに綴じてください。また、積極的に授業に参加することが求められます。授業中に携帯を操作した学生は教室から退出してもらいます。辞書を持参しない学生は欠席とします。